



令和 年 月 日 前 時 分 受 領
後

出生届

令和 4 年 4 月 1 日 届出

栃木県那須塩原市長 殿

受理 第 号	令和 年 月 日	発送 令和 年 月 日
送付 第 号	令和 年 月 日	栃木県那須塩原市長 印
書類調査	戸籍記載	記載調査
決 裁	調 査 票	附 票
住 民 票	通 知	9-2
		19-3

(1) 生 子 の 氏 名	(よみかた) なすの じろう 氏 名 那須野 次郎	父母との 続き柄	<input checked="" type="checkbox"/> 嫡 出 子 <input type="checkbox"/> 嫡出でない子	(男 女) <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
(2) 生 ま れ た と き	令和 3 年 1 1 月 3 日	<input checked="" type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後	2 時 3 0 分	
(3) 生 ま れ た と こ ろ	栃木県那須塩原市井口537 (番地) 番 3 号			
(4) 住 所	栃木県那須塩原市共墾社108 (番地) 番 2 号 (アパート名など) なすしおハイツ103号			
(5) 父 母 の 氏 名 生 年 月 日	父 那須野 太郎	母 那須野 花子		
(6) 本 籍	栃木県那須塩原市共墾社108 (番地) 番 2			
(7) 同 居 を 始 め た と き	昭和 (令和) 平成 西暦 2 年 5 月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)		
(8) 子 が 生 ま れ た と き の 世 帯 の お も な 仕 事 と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input checked="" type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯			
(9) 父 母 の 職 業	(国勢調査の年…令和 年…の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください) 父の職業 母の職業			
そ の 他				
届 出 人	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 父 母 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人 () <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産師 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長			
住 所 (4) 欄 に 同 じ	栃木県那須塩原市共墾社108 (番地) なすしおハイツ 番 2 103号			
本 籍 (6) 欄 に 同 じ	栃木県那須塩原市共墾社108 (番地) 番 2 筆頭者の氏名 (6) 欄 に 同 じ 那須野 太郎			
署 名 (※押印は任意)	那須野 太郎	印	昭和 (平成) 西暦 4 年 7 月 3 0 日 生	
事 件 簿 番 号	連 絡 先 ()			

確認済

住所地
 本籍地
 母の従前戸籍
 父母の婚姻年月日 (平成 令和 年 月 日)

記入の注意

※鉛筆や消すことのできるインクを使ったボールペンは使用しないでください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に出してください。

届書は、1通でさしつかえありません。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かたかな、ひらがなで書いてください。子が外国人のときは、原則かたかなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

よみかたは、戸籍には記載されません。住民票の処理上必要ですから書いてください。

には、あてはまるものにのようにするしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく指定統計第5号、厚生労働省所管)にも用いられます。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届出人は、原則として子の父または母です。届出人が署名したあと届書を持参する方は親族、その他の方でもかまいません。

住所、本籍等が上記(4)、(6)欄と同じ場合は記入しなくて結構です。

◎ご持参いただくもの◎

- ・母子健康手帳
- ・届出人の印鑑
- ・健康保険証
- ・預金通帳

※児童手当制度および乳幼児医療費助成制度があります。詳しいことは担当課へお尋ねください。



出生証明書

子 の 氏 名	男 女 の 別	1 男 2 女
生 ま れ た と き	令和 年 月 日	午前 時 分 午後 時 分
出 生 し た と こ ろ 及 び そ の 種 別	出生したところの種別	1 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他
	出生したところ (出生したところの種別1~3) 施設の名称	番地 号
(11) 体 重 及 び 身 長	体重	身長
(12) 単 胎 ・ 多 胎 の 別	1 単胎 2 多胎 (子中第 子)	グラム センチメートル
(13) 母 の 氏 名	妊 娠 週 数	満 週 日
(14) この母の出産した子の数	出生子 (この出生子及び出生後死亡した子を含む) 死産子 (妊娠満22週以後)	人 胎
(15) 1 医 師 2 助 産 師 3 そ の 他	令 和 年 月 日 (住所) (氏名)	番 地 番 号

記入の注意

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。

この母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産師ともに立ち会った場合には医師が書くように1、2、3の順序に従って書いてください。



NASUSHIOBARA

